

温暖化防止

ストリート

街角

道



第22号
2006.11.1

「温暖化防止・ストリート」の由来

このストリート（街角）で温暖化防止について語り、情報や人の環が広がっていくことが、温暖化防止への道（ストリート）につながることを願っています。一緒に歩いてみませんか。

気候ネットワーク

～わたしたちはめざします～

1. 抜本的な国内対策で京都議定書の6%削減を！
2. 環境重視の社会経済システムを！
3. 市民・地域主導で温暖化防止の促進を！
4. 政策決定プロセスに市民の参加と情報公開を！
5. 南北の公平をめざし、南の人々と連携を！

目次

- ・用語解説「BAU/レファレンスケース」……P.1
- ・団体紹介「全国消費者団体連絡会」……P.2
- ・温暖化Q&A・こんなことできる……P.3
- ・活動紹介・本の紹介・ボランティアの声……P.4

気候ネットワークの会員同士のつながりを強め、その環を一層多くの人に広げたいと思い、この「温暖化防止・ストリート」を発行しています。

地球温暖化に関する用語解説

BAU/レファレンスケースとは？

CO₂排出量やエネルギー消費量の予測の際によく使われる言葉です。「BAU」は、Business As Usualの略で、直訳すれば「通常どおり」という意味で、一般的には「自然体ケース」あるいは「現状推移ケース」と訳されています。

例えば、「自然体ケースでは2100年には温室効果ガスの濃度は、800ppmを超え、気温の上昇は4℃以上になると予測される」という文脈で使われています。しかし、将来どうなるかというケース想定の設定には考え方が分れることから、唯一絶対のケースがあるわけではありません。

エネルギー予測では「レファレンスケース」という語も使用されています。これもBAUとほぼ同じ意味で、過去の傾向を延長した場合を想定して予測しているものです。政府の2030年エネルギー需給見通しでは、レファレンスケースに加え、省エネや新エネルギーが進展する「エネルギー技術進展ケース」が分析されています。

気候ネットワークの2020年30%削減シナリオプロジェクトでは、政府のレファレンスケースも参考にしながら、対策ケースに対して比較基準となるケースを「ベースケース」としています。

(関連記事：気候ネットワーク通信51号4～6頁)

「全国消費者団体連絡会」の紹介です。高野ひろみさん（同法人 事務局 環境担当者）から紹介していただきました。



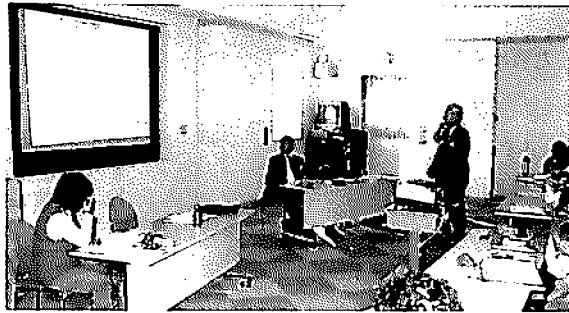
高野ひろみさん

全国消費者団体連絡会（全国消団連）は、「消費者の権利の確立と暮らしを守り向上をめざすため全国の消費者組織の協力と連絡をはかり、消費者運動を促進すること」を目的として設立され、消費生活に関連する諸問題や制度及び消費者運動の進め方等について、調査研究、情報の交換を行っています。1956年12月24日に結成され、今年、50周年を迎えます。現在会員は、中央団体組織22団体、地方組織22団体の合計44団体で構成されています（2006年10月現在）。団体の活動としては、国内の消費者団体の広範囲なネットワーク組織として、会員間の情報や意見の交換等のほかに、個別課題の委員会やグループをつくり、テーマ別の検討会・意見交換会に取り組み、消費者としての意見をまとめ、行政や関係各方面へ要請を行っています。

また、全国の消費者団体・市民団体に呼びかけて実行委員会をつくり運営をしている「全国消費者大会実行委員会」の事務局をしています。毎年11月に開催している全国消費者大会では、さまざまな消費者問題のうち、毎年テーマをしぼって取り上げています。2006年第45回大会は、56団体が実行委員会に参加し、11月29日（水）東京・代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、「消費者パワーで未来を創ろう 安全で安心してらせる平和な社会を」を大会テーマに、「消費者政策」「食」「税・社会保障」「環境」「市場と安全」「暮らしと憲法」の6つの分科会と「みんなで考えよう！ 暮らしの安全・安心」と題した全体会を開催します。

その中の「環境分科会」は、環境問題に取り組んでいる消費者団体、市民団体などの参加のもと、幅の広い環境問題について、毎年いろい

気候ネットワークの団体会員の紹介です。



ろな角度からとりあげています。基調講演で問題提起を行い、地域の実践事例の報告や情報交換や意見交換などを通じて今自分達にできることは何かを環境に関心のある参加者とともに考えています。ここ数年は、地球温暖化防止について取り上げています。今年、「地球温暖化防止はまったなし!!!～環境破壊の流れを変えよう～」と題して開催します。是非ご参加ください。

また、この環境分科会実行委員会の参加団体でつくる緩やかなネットワーク組織として環境交流会が全国消団連の中にあります。昨年は交流会こそ開催できませんでしたが、その中のメンバーを中心に「地球温暖化防止・省エネ東京連絡会」が結成され、省エネ家電の利用普及・啓発に取り組んでいます。全国消団連はオブザーバー参加で、情報提供などの後方支援をさせていただいています。

全国消団連も気候ネットワークの会員になっています。送られてくる会報は、昨年からは環境担当となった私にとっては、大変勉強になっています。身近なところから、全地球規模の問題まで幅の広い環境問題への取り組みは、それぞれ、千差万別。全国消団連として、情報収集と情報提供しかできていませんが、さまざまな取り組みを通して、より環境問題を捉えていきたいと思います。

全国消費者団体連絡会（全国消団連）

第4回 家電買い替えは本当に温暖化防止にとって効果があるの？

「買い替え時には省エネ製品を選びましようと言われても、省エネ製品でも製造や廃棄時に多くのCO₂が排出されて、逆効果では」と言う疑問がよく出されますが本当はどうでしょうか。

■買い換えの効果

10年前に比べ、エアコンの消費電力量は約40%も改善されています。そのため、10年前のエアコンを最新の省エネ型に買い換えれば、使用期間の消費量は、約40%も削減されることとなります。同じように冷蔵庫やテレビも、一定省エネ化が進んできているので、同じサイズのものであれば買い換えは有効な対策となります。

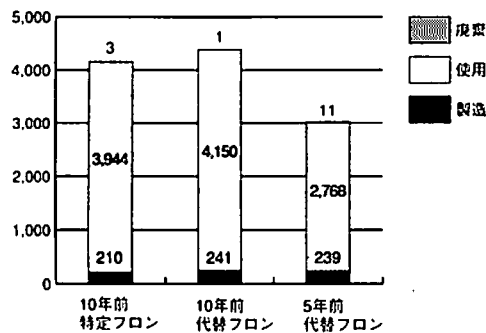
■LCCO₂（ライフサイクルのCO₂排出量）で考えた場合にどうなるか

エアコンや冷蔵庫などの使用時間が長い製品は、グラフを見ると分かるように、使用時のエネルギーに比べて、製造・廃棄時にかかるエネルギーは非常に小さなものとなります。そのため、使用時間が長い製品の場合は、古い製品を使い続けることがエネルギーを浪費することにつながり、買い換えた方がトータルで見ても環境負荷が少なくなります。

■省エネラベルを見て選ぶ

この10月から省エネラベリング制度の規格が変わりました。下の省エネラベルを参考に、使用する年数も考慮して、製品選択を行うといいでしょう。

冷蔵庫のLCCO₂の比較



LCA試験公開データベースより作成

統一省エネラベル (サンプル)



温暖化防止
こんなことができる！



このコーナーでは、「家庭・個人」・「地域・グループ」でできる効果的な温暖化対策を紹介していきます。

今回のテーマは、 「カーボンオフセット」



鉄道等比べて飛行機は、同じ距離を移動する場合、一人当たりのCO₂排出量がかなり多くなります。海外旅行などで飛行機を使わざるを得ず、心苦しい思いをしたことがある方も少なくないのではないのでしょうか。

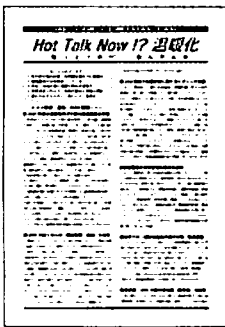
そんな中、最近、カーボンオフセットという取り組みが実施されています。これは、自らが排出したCO₂の量に応じて金銭を支払い、そのお金をもとに温暖化対策を実施することによって排出したCO₂を相殺するというものです。イギリス

政府は、政府関係者が出張で飛行機を使用した際には、カーボンオフセットを行う方針を表明しています。また英国航空 (BA) では、あくまでも任意ですが、乗客が航空運賃に距離に応じて追加料金を支払うことによってカーボンオフセットを行うことができる制度を実施しています。ちなみに、ロンドンー大阪間であれば1,500円だそうす。支払われたお金は、この制度を運営している企業を通じて、途上国での自然エネルギー・省エネ設備の導入、植林などに使われています。

Action

気候ネットワークの活動紹介

FAX・E-mail通信「Hot Talk Now!? (ほっとくの!?) 温暖化」発行



気候ネットワークでは、月2回（毎月10日と25日）FAX・E-mailニュース「Hot Talk Now!? (ほっとくの!?) 温暖化」を発行しています。国内外の地球温暖化に関する動向の概要をタイムリーに伝えることを目的に、「政府・国会・NGO関連」「科学・技術関連」「国際動向関連」の3つの柱で、最新情報の提供を行っています。この“ほっとくの”を作成するために、東京事務所では日ごろから政府の審議会

や各界の温暖化関連動向をつぶさに追うという地道な活動を行っており、ボランティアやインターンも情報収集や原稿執筆、編集作業に協力しています。“ほっとくの”は、気候ネットワーク会員のほか、政府関係者やマスコミ関係者、国会議員等などにも送信しており、関係者からは地球温暖化の最新情報やNGOの動向を知るためのツールとして幅広く読まれています。

Book

書籍紹介

『新装版 バイオディーゼル 天ぶら鍋から燃料タンクへ』



著者: 山根 浩二
定価: ¥1,100
四六判 138頁
ISBN: 4-86223-120-9
発行: 東京図書出版会
2006年9月21日
新装初版発行

菜の花プロジェクトの全国的な広がりによりバイオディーゼル燃料も広く知られるようになりました。本書は専門的な知見を含めつつ、バイオディーゼルについて比較的平易にまとめたポケットハンドブックです。バイオディーゼルの持つ温室効果ガスの削減効果やその利用の歴史的な動向、燃料の特性や品質、使用時のガイドラインなど幅広い内容が網羅されており、基本的な知識を提供してくれる入門書です。

前田昌宏（気候ネットワークボランティア）

Volunteer

ボランティアの声



東京ボランティア 山田 純子さん

気候ネットワークでは
たくさんの方のボランティアが
一緒に活動しています。
そのボランティアからのコメント！

まだ参加して2ヶ月で、主に雑用をしながら仕事を覚えている最中ですが、少しずつ勉強させてもらっています。民間の会社で働いていた頃とはまた違ったやりがいと刺激があるので毎回楽しく仕事をしています。ボランティアの最初の仕事（昔はあこがれていた）環境省に行くことだったのでびっくりしましたが、色々信用して仕事を任されていることがうれしいです。これからも色々経験させてもらいつつお手伝いできればと思います。

編集後記

肌寒い日が多くなり、秋の到来を感じる今日この頃です。秋と言えば、読書の秋、スポーツの秋・・・ですが私は断然食欲の秋です！梨や栗に葡萄に柿・・・旬の果物や野菜はおいしくて、心も体も秋晴れ（腫れ）です。

気候変動によって、この秋を満喫できなくなることは避けたいと思います。

（マッキー）



特定非営利活動法人 気候ネットワーク

代表: 浅岡美恵 / 副代表: 須田睿海 / 事務局長: 田浦健朗

URL: <http://www.kikonet.org/>

「温暖化防止・ストリート」22号
2006年11月1日発行（隔月1日発行）
編集・DTP: 松本美佳・平岡俊一

京都事務所 (本部)
〒604-8124 京都市中京区高倉通四条上る高倉ビル305
TEL: 075-254-1011 FAX: 075-254-1012
E-mail: kyoto@kikonet.org

東京事務所
〒102-0083 東京都千代田区麹町2-7-3半蔵門ウッドフィールド2F
TEL: 03-3263-9210 FAX: 03-3263-9463
E-mail: tokyo@kikonet.org

5色100%の再生紙に大豆インクを使用し、風力発電による自然エネルギーで印刷しました。



郵便振替口座: 00940-6-79694 (加入者名: 気候ネットワーク)
銀行振込口座: リソナ銀行 京都支店 普通口座 1799376 (気候ネットワーク)